養老町

土砂災害ハザードマップ（土砂災害危険区域図）

－上多度地区－

保存版
令和4年3月改訂

あなたと家族の身を守るための情報が載っています。

土砂災害ハザードマップについてのお問い合わせ先
養老町役場　産業建設部　建設課
〒503-1392 養老郡養老町高田798番地 TEL(0584)-32-5081

メール配信サービス（養老町あんしん防災ネット）

防災アプリ（養老町防災行政情報）

アンドロイドはこちら　iphoneはこちら

平常時の心構え（避難の心得・被害抑制）

災害時に備え、避難する際に注意すべき点や被害を抑えるための対策を知っておきましょう。

避難の心得

1. 非常持出品を準備しておきましょう

避難所の備品には限りがありますので、各自が十分な準備をすると安心です。両手の空くリュックサックに非常持ち出し品を準備しておきましょう。

☞ 非常持出品・備蓄品の事前準備

2. 避難先・避難ルート・避難方法を確認しましょう

災害に対して安全な避難先とルートを平時から家族や地域で確認しておきましょう。また、自家用車での避難は、緊急車両の通行を妨げるとともに、交通渋滞に巻き込まれる可能性がありますので注意しましょう。

☞ 我が家のオリジナルマップ　☞ 我が家の防災メモ

3. 早めの避難を心がけましょう

土砂災害の場合は、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域から区域外に設けられた避難所（安全な場所）に早めに移動することが重要です。気象情報や前兆現象などをもとに、身の危険を感じたら避難指示を待たずに自主的に避難を開始しましょう。

☞ 収集できる情報について　☞ 避難指示等の発令について　☞ 土砂災害の前兆現象

4. ご近所に声をかけましょう

単独での避難は、思わぬ事態にあったときに危険です。避難する前に隣近所に声をかけ、集団での避難を心がけましょう。

5. 避難時における注意点

田んぼの横を通る道沿いでは、大雨で道路が冠水した際に、柵のない用水路やフタのない側溝に落ちる可能性があり危険なため、近づかないようにしましょう。

崖の近くや増水した川にかかる橋などは危険なため、みだりに近づかないようにしましょう。

夜暗くなる前に早めの避難を心がけましょう。やむを得ず夜間に避難する場合は、複数名で移動するなど気をつけて歩きましょう。

早めに土砂災害警戒区域等から区域外へ避難する必要がありますが、既に屋外に移動することが危険な場合には、がけ等と反対側の2階以上の部屋等に移動することも有効な場合があります。

6. 避難所での注意点

災害時に開設される避難所では、不特定多数の人々が一定期間滞在することになります。大声を出したり、騒いだり他人が不快に感じるような行動は控えましょう。互いの気遣いが大切です。

【感染症等の防止対策】

避難所は、3密（密閉、密集、密接）により感染症等の感染リスクが高くなります。マスクを着用し、ソーシャルディスタンス（前後左右2m間隔の確保）の確保、こまめな手洗いや手指消毒を行うことが大切です。不足が予想されるマスク、石鹸（消毒液）、体温計、タオル、スリッパ、ビニール手袋等は、各自で用意しましょう。

平常時の心構え（持出品の準備・安否確認方法）

非常持出品の準備・家族同士の安否確認の方法を知っておきましょう。

非常持出品・備蓄品の事前準備

自宅が被災したときには、安全な場所に避難し避難生活を送ることになります。
非常時に持ち出すべきものをあらかじめリュックサック等に詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。また、感染症等の拡大防止の対策もしましょう。

持出品チェックリスト　※必要なものは、以下のものだけではありません。私たち一人ひとりの「必需品」を把握しておきましょう。

生活用品
- □ 携帯ラジオ（予備の乾電池）
- □ 懐中電灯（予備の乾電池）
- □ ペットボトル
- □ 使い捨て食器・割りばし
- □ 缶切り
- □ 万能ナイフ

医療品・衛生用品
- □ 救急セット（常用薬）
- □ タオル
- □ 着替え
- □ 石けん
- □ ドライシャンプー
- □ ちり紙（ティッシュ、トイレットペーパー）

情報収集
- □ ハザードマップ
- □ 緊急時の家族、親戚、知人の連絡先
- □ 筆記用具

貴重品
- □ 現金（小銭も）
- □ 印鑑
- □ 預金通帳
- □ 免許証、保険証の写し、マイナンバーカード
- □ 携帯電話
- □ 家・車のキー

食糧等
- □ 非常食
- □ 飲料水

その他
- □ 軍手
- □ ヘルメット
- □ ひも
- □ ロウソク
- □ 粉ミルク・哺乳瓶（赤ちゃんに必要なもの）
- □ その他自分の生活に欠かせないもの
- □ マスク、体温計、スリッパ、ビニール手袋等

また、電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や長期間保存できる食料などを備蓄しておきましょう。（最低でも3日間分、可能な限り1週間分程度）
防災のために特別なものを用意するのではなく、なるべく普段の生活の中で利用されている食品等を備蓄するようにしましょう。

家族・知人の安否確認

●災害用伝言ダイヤル（171）
災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。

伝言の録音方法　「171」▶「1」▶被災地の方の電話番号を入力▶伝言を入れる
伝言の再生方法　「171」▶「2」▶被災地の方の電話番号を入力▶伝言を聞く

●災害用伝言板（web171）
災害時にインターネット（https://www.web171.jp）を利用して、被災地の方の安否確認を行う伝言板です。

※NTT西日本のホームページより引用

●災害用伝言板
被災地の方が伝言を文字で登録し、全国から伝言を確認できます。

NTTドコモ
http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi/
KDDI(au)
http://dengon.ezweb.ne.jp/
ソフトバンク
http://dengon.softbank.ne.jp/
ワイモバイル
http://dengon.ymobile.jp/info/

利用イメージ

●災害用音声お届けサービス
スマートフォン等の対応端末から、以下のアプリケーションにより音声メッセージの送信ができるサービスです。

NTTドコモ「災害用キット」　ソフトバンク「災害用伝言板」
KDDI(au)「au 災害対策」　ワイモバイル「災害用伝言板」

平常時の心構え（避難経路・防災メモ）

家族内で話し合い、避難時の行動を確認しておきましょう。

我が家のオリジナルマップ

お住まいの地区の避難所（安全な場所）はどこなのか確認しておきましょう。
家族みんなで避難所まで歩いてみましょう。
実際に歩いてみて、安全で避難しやすい経路を探してみましょう。
あなたの避難経路図を下の地図に書き込んでみましょう。

我が家の防災メモ

緊急時に備え、ご家族の集合場所や連絡先などを事前に書き記しておきましょう。

集合場所		指定避難所		指定避難所までの移動時間	
家族の氏名	生年月日	血液型	連絡先（勤務先・学校）	電話番号	病気・アレルギー・常備薬等

防災リーフレット等

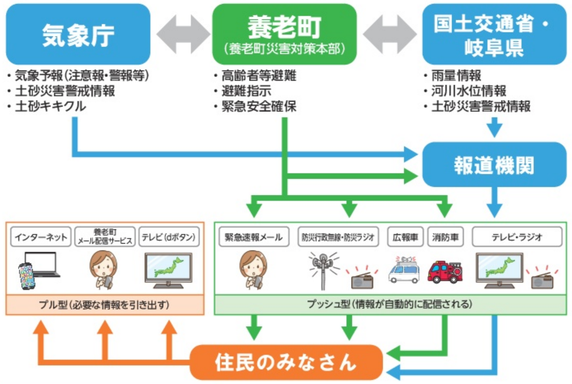
いつ起こるか分からない災害には、平時から備えておくことが重要です。
防災リーフレットを活用して災害時に、どのタイミングで、誰と、何を持って避難するか、警戒レベルにあわせて自身がとるべき行動等を書き込んで、防災について家族で話し合い、いざという時にどのように行動するかを確認しましょう。
【避難者カード】と【健康状態チェックカード】は、避難所の受付に提出していただくものです。混雑を避けるためにも、事前に記入していただくようお願いします。（養老町ホームページよりダウンロード可能です。）

避難をする前に（災害に関する情報伝達）

気象予報や避難指示等を、どのような手段・方法で入手できるかを知っておきましょう。

災害に関する情報の伝達手段・経路

町では、災害発生の恐れがあるときや、災害の発生が確実なときには災害対策本部等を設置し、対応します。また、災害の危険が高まり、避難が必要となる場合には、避難情報を発令します。



収集できる情報について

収集できる情報	収集方法
気象情報	・テレビ、ラジオ ・緊急速報メール（NTTドコモ、KDDI(au)、ソフトバンク、ワイモバイル） ・気象庁HP（https://www.jma.go.jp/jma/index.html） ・岐阜県総合防災ポータル（https://www.pref.gifu.lg.jp/bousai/） ・土砂キキクル（https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#zoom:5/lat:35.173808/lon:134.011230/colordepth:normal/elements:land）　など
河川水位情報	・緊急速報メール（NTTドコモ、KDDI(au)、ソフトバンク、ワイモバイル） ・国土交通省　川の防災情報（https://www.river.go.jp/kawabou/ipTopGaikyo.do） ・岐阜県総合防災ポータル（https://www.pref.gifu.lg.jp/bousai/） ・ぎふ 土砂災害警戒情報ポータル（https://alert.sabo.pref.gifu.lg.jp/web_pub/top/top.html） ・岐阜県 川の防災情報（雨量、水位）（http://www.kasen.pref.gifu.lg.jp/#/） ・テレビ（地上デジタル放送）の河川情報　など
町の発信情報	・防災行政無線、CATV、広報車 ・消防団、自主防災組織等による伝令 ・メール配信サービス（養老町あんしん防災ネット） ・防災アプリ（養老町防災行政情報）　など

避難をする前に（情報取得（プッシュ型））

気象予報や避難指示等を聞き漏らさないことが重要です。

土砂キキクルの活用と避難情報の確認

気象庁が提供している土砂キキクルは、大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを、地図上で5段階に色分けして示す情報です。常時10分毎に更新しており、土砂災害警戒情報や大雨警報（土砂災害）等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。

警戒レベル	発令される状況	避難情報等	土砂キキクルに関する注意報・警報	※2 色の意味	みなさんが取るべき行動※1
			防災気象情報をもとに取るべき行動と相当する警戒レベル	土砂キキクルの利活用	
5	災害発生又は切迫	緊急安全確保（町長が発令）	大雨特別警報（土砂災害）	-	**命の危険、直ちに安全確保！** ・何らかの災害が発生または切迫している状況であり、命の危険があるため直ちに安全を確保する
			＜警戒レベル4までに必ず避難＞		
4	災害のおそれ高い	避難指示（町長が発令）	土砂災害警戒情報	極めて危険	この段階までに必ず避難を完了しておく
				非常に危険	**危険な場所から全員避難** ・速やかに土砂災害警戒区域等から区域外の避難所（安全な場所）へ避難する
3	災害のおそれあり	高齢者等避難（町長が発令）	大雨警報（土砂災害）	警戒	**高齢者等は危険な場所から避難** ・避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は、土砂災害警戒区域等から区域外の避難所（安全な場所）へ避難する
2	気象状況悪化	大雨・洪水注意報（気象庁が発表）	大雨注意報	注意	・避難に備えてハザードマップ等を用意し、自らの避難行動を確認する ・避難先と避難経路の確認をする
1	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報（気象庁が発表）	早期注意情報警報級の可能性	今後の情報に注意	・災害への心構えを高める ・最新の防災気象情報に留意する

※避難情報に関するガイドラインの説明資料（内閣府）、気象庁ホームページに基づき作成。
※1 土砂キキクルに関わらず、町から避難指示等が発令された場合には速やかに避難行動をとってください。
※2 土砂キキクルで表示される色は、避難にかかる時間を考慮して、2時間先までの予測値を用いて、危険度を表示しています。

土砂キキクルのホームページ→

避難指示等の発令について

防災気象情報などを踏まえ町が発令します。この避難指示等の情報を参考に、周囲の状況に応じて、早めの避難を心がけましょう。

避難指示や緊急安全確保を発令されることが予想される場合
高齢者等避難
◆避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は危険な場所から避難しましょう。
◆その他の人は、避難の準備を整えましょう。

災害による被害が予測され人的被害が発生する可能性が高まった場合
避難指示
◆危険な場所から全員避難しましょう。
◆外出することでかえって命に危険が及ぶ状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

災害が発生するなど、状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合
緊急安全確保
◆すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です。
◆警戒レベル5の発令を待ってはいけません。

避難をする前に（情報取得（プル型））

国・県等がどのような情報を、どのような手段で提供しているかを知っておきましょう。

災害に関する情報の取得方法

メール配信サービス（養老町あんしん防災ネット）
▶「養老町あんしん防災ネット」は、気象警報や地震情報（震度3以上）に関する防災情報を登録された人の携帯電話などに電子メールで配信するサービスです。
▶どなたでも登録できます。登録は無料ですが、通信費は登録者負担となります。

（登録方法）
①「https://plus.sugumail.com/usr/yoro-anshin/」または右上にあるQRコードにアクセスしてください。
②「メールを作成する」から「空メール」を送信（件名、本文に何も書かずに、そのまま送信）してください。
（※QRコードを利用されない方、または、パソコンを受信先に登録を希望される方は、直接「t-yoro-anshin@sg-p.jp」に空メールを送信してください。）
（注：メール受信制限（迷惑メール対策）をされている方は「@sg-m.jp」のドメインからの受信を許可する設定にしておいてください。）
③すぐに登録録手続きについてのメールが返送されますので、指示に従い、登録をしてください。

詳しくは、養老町公式ホームページの「暮らしの情報」>「安全・安心」>「総務部総務課」>「養老町あんしん防災ネットについて」をご覧ください。

防災アプリ（養老町防災行政情報）
防災無線で流れた広報を音声・文字で確認、災害時の情報収集をするためのサイトのリンク、選択した避難所への最短ルート案内などがスマートフォンで利用できるようになりました。登録は、右側のQRコードを読み取り、登録してください。

アンドロイドはこちら　iphoneはこちら

テレビ（地上デジタル放送）の河川情報
▶河川情報（雨量・水位）については、テレビのデータ放送や携帯電話等で入手できます。
▶大雨に備え、操作方法や、得られる情報について平常時からご確認をお願いします。

（操作方法）
①ご家庭の地デジ対応テレビのリモコンの「dボタン」を押してください。
②「TOPメニュー」の「防災生活情報」>「河川水位・雨量情報」を選択してください。
③「決定ボタン」を押してください。

※地デジによる河川防災情報の提供（国土交通省）より引用　※画面表示は、番組内容などにより異なる場合があります。

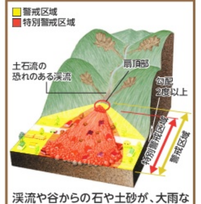
土砂災害の基本知識

土砂災害に関して基本的な知識を身につけましょう。

土砂災害の種類

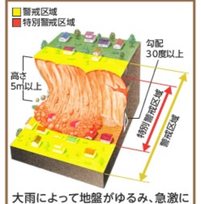
土砂災害は土石流、急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）、地すべりの3種類があり、それぞれ特徴が異なります。土砂災害は長雨や地震によって突然発生する可能性があるため、災害が発生するおそれのある区域を予め把握し、早めの避難を心がける必要があります。

◆土石流



渓流や谷からの石や土砂が、大雨などにより水と一緒になって激しく流れ下る現象です。

◆急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）



大雨によって地盤がゆるみ、急激に斜面が崩れ落ちる現象です。

◆地すべり

雨や雪どけ水が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す現象です。

土砂災害の前兆現象

土砂災害が起こる前には、多くの場合、何らかの前兆現象があります。下に挙げたものは主な前兆現象です。こうした前兆現象に気づいたら、周囲の人にも知らせ、いち早く安全な場所に避難することが大事です。

◆土石流

立木の裂ける音や大きな岩の流れる音が聞こえる
（大きな岩同士がぶつかる音や立木の折れる音などが、下流まで聞こえることがあります）

急に川の流れが濁り、流木が混ざる
（上流で発生した土石流が原因で、川に流入した土砂や倒木が下流へ流れてきたときに見られる現象です）

雨が降り続いているのに川の水位が下がる
（上流で崩れた土砂により川を塞ぐ天然ダムができ、川の水を貯めているために見られる現象です）

◆急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）

・がけから水が湧き出ている
・普段湧んでいる湧き水が湧ってくる
（地盤の内部に新たな水の通り道ができた、または大量の地下水が流れたことで隙間が広がったために見られる現象です）

がけに亀裂ができる
（地表水の浸透や地下水の湧出、樹木の根の伸長等により、割れ目の結合力が弱まっているために見られる現象です）

がけから小石がパラパラ落ちてくる
（がけ表面の中で結合が弱い箇所から起きる現象です。頻度が多いとがけ崩れの発生の可能性が高まります）